

14 トラブル

場面：ニュース番組の一部

状況：スマホアプリの虚偽広告のニュース。ナレーションと、レポーターと被害者の大学生のやりとり

登場人物：

A (女性、ナレーター)

B (女性、レポーター)

C (男性、大学生 (リョウ))

(BGM：ニュースのオープニング)

A：最近、SNSでよく見かけるスマートフォンゲームの広告に関して、「内容が実際のゲームとちがう」という声が多数上がっています。若者に人気のゲームに関する虚偽広告について、大学生にインタビューを行いました。

B：こちらは都内の大学の近くにあるカフェです。ゲームをする大学生は多いですが、最近、スマートフォンゲームが「広告で見た内容とまったく違った」という経験をした人が増えているようです。大学3年生のリョウさんに、くわしくお話をうかがいました。

C：「SNSで『オレノ・キングダム』っていうゲームの広告を見たんです。選んだ内容で主人公の人生が変わるとか、モンスターと戦うとか、恋愛ストーリーがあるって言ってたんですよ。面白そうだからダウンロードしたんですけど…実際は全然違って。出てくるのはただのパズルゲームで、あの広告にあった内容なんてひとつもありませんでした。」

B：なるほど。実際にそのゲームをして、どうでしたか？

C：「最初は簡単なんだけど、しばらくすると急に難しくなって、課金しないと先に進めないんです。正直がっかりしました。これからはダウンロードする前にレビューをよく読むことにします。」

B：実際にこのゲームを配信している会社は、前にも実際のゲームと違う広告で問題になったことがありました。SNS上でも、このような広告について「実際のゲームと異なる」「だまされた」という口コミが増えており、被害にあった人はかなりの人数になると思われます。

このような広告はユーザーを増やすために、実際のゲームとは違う内容を使う、いわゆる「虚偽広告」といわれるものです。

私たちユーザーはダウンロードする前に、よくゲームの内容などを調べる必要があります。